

丸井グループの サステナビリティ経営



2019年 6月 3日

丸井グループの概要

創業 1931年 家具の月賦商として創業

事業内容 小売事業、フィンテック事業

※小売・金融一体の独自のビジネスモデル

小売事業

「マルイ」
お客さま参画型の店づくり



「モディ」
エリアに応じた店づくり



- ・ 関東を中心に、東海・関西・九州に25店舗
- ・ 取扱高 3370億円
- ・ 年間入店客数 2.1億人

フィンテック事業

エポスカード



- ・ カード会員数 688万人
- ・ 取扱高 2兆3106億円

(2019年3月期)

共創経営：すべての事業プロセスに「お客さま」視点を取り入れる

『信用は私達たちがお客さまに与えるものではなく、お客さまと共に創るもの』
(創業者：青井忠治)



共創の集大成
博多マルイ

累計400万足突破！
ラクチンきれいシューズ



年会費無料の
ゴールドカード

共創 = お客さまと共に創る



エポスカードアプリ
170万DL突破！

お客様の声を反映した広告宣伝



PB保険

企業価値視点の「共創経営」：私たちの考える企業価値

企業価値

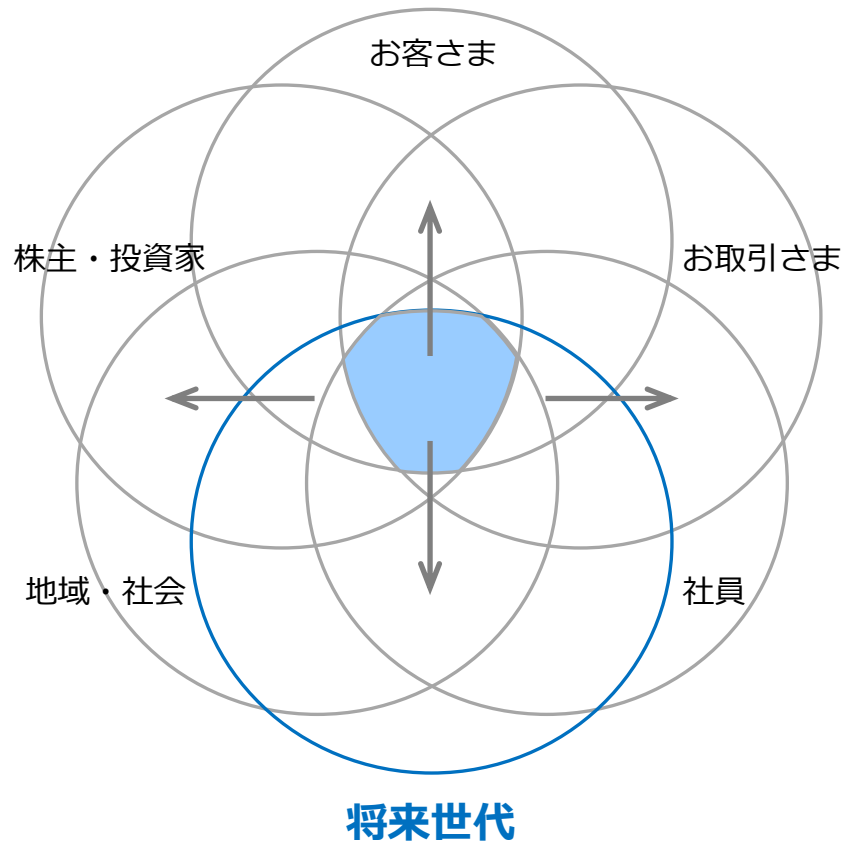
=

すべてのステークホルダーの「利益」の重なり合う部分

重なり合う部分の拡大

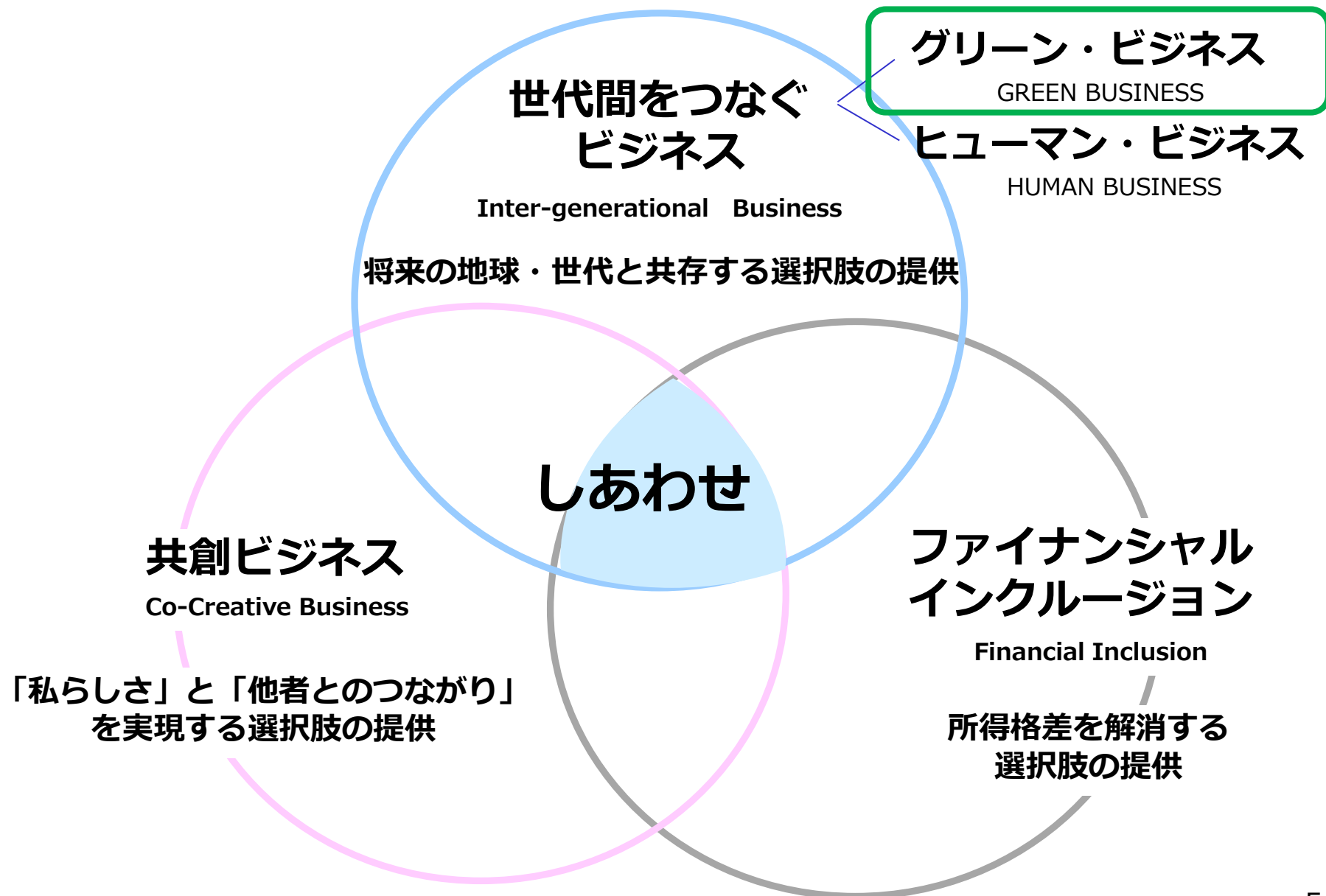
=

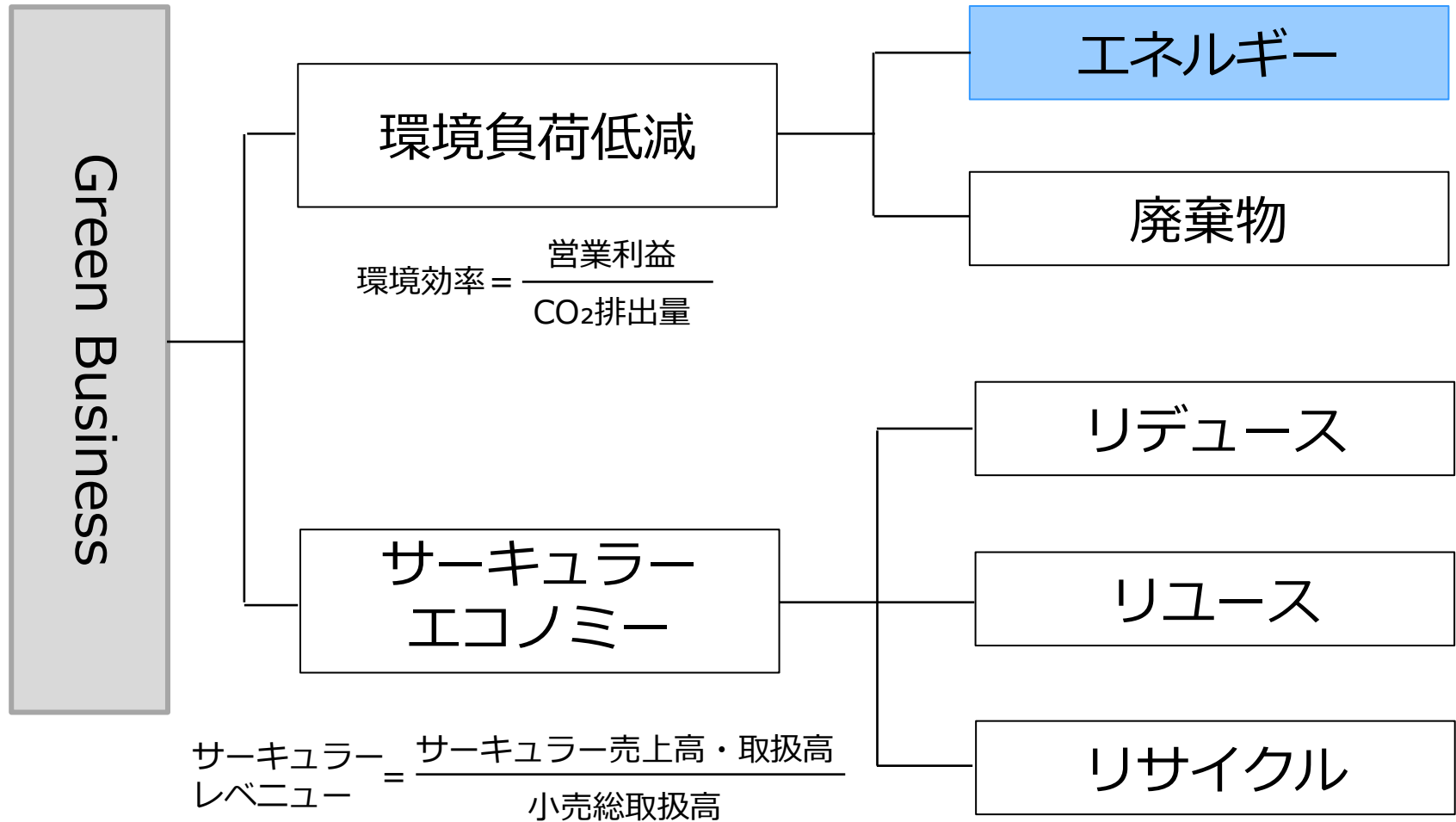
企業価値の向上



ビジネスを通じてあらゆる二項対立を 乗り越える世界を創る

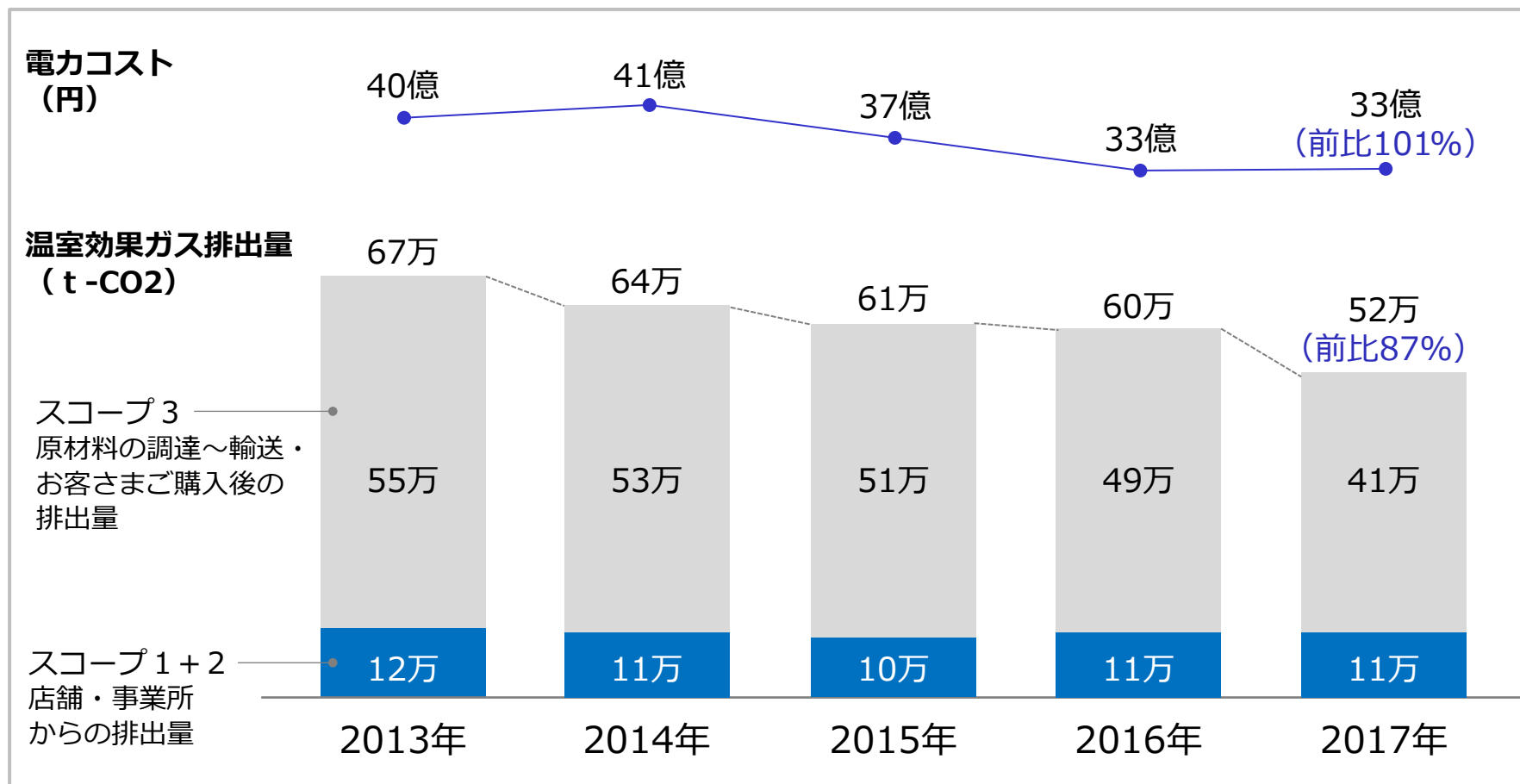






- ・ バリューチェーン全体の排出量は5期連続減少
- ・ 16年度電力コストは下がったが、自社から排出するCO₂は増加

■ 温室効果ガス排出量（スコープ1+2+3）と電力コストの推移

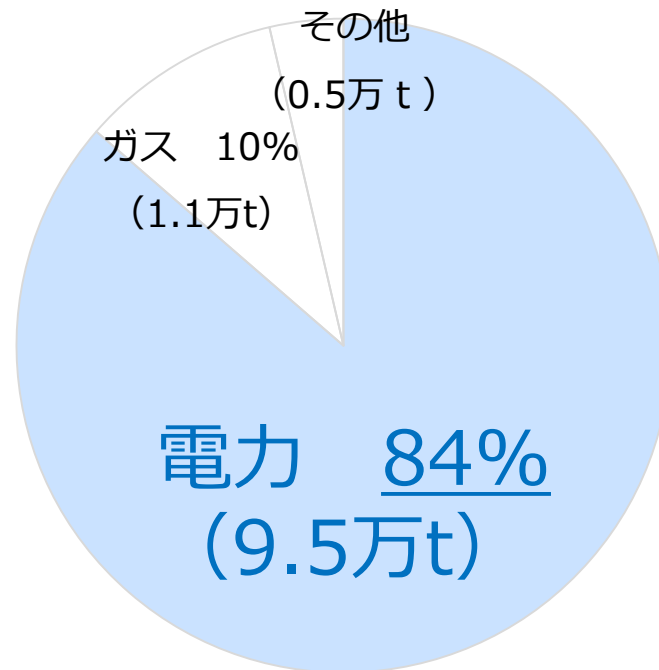


- ・ 環境コストのうち電力が最も高く、全体の約 6 割
- ・ 自らの事業から排出するCO2の内、約8割が電力による排出

■環境コスト（2018年度）

	コスト(円)	構成
電気	30億	59%
水道	8億	16%
ガス	3億	6%
廃棄物	2億	4%
その他	8億	16%
合計	51億	100%

■温室効果ガス排出量構成（スコープ1+2）



- ・ 店舗で使用する単位面積あたりの電力使用量は工場の2倍

- ・ 自社が使用するエネルギー100%を再生可能エネルギーに切り替えを決定

■ 2018年7月「RE100」へ加盟

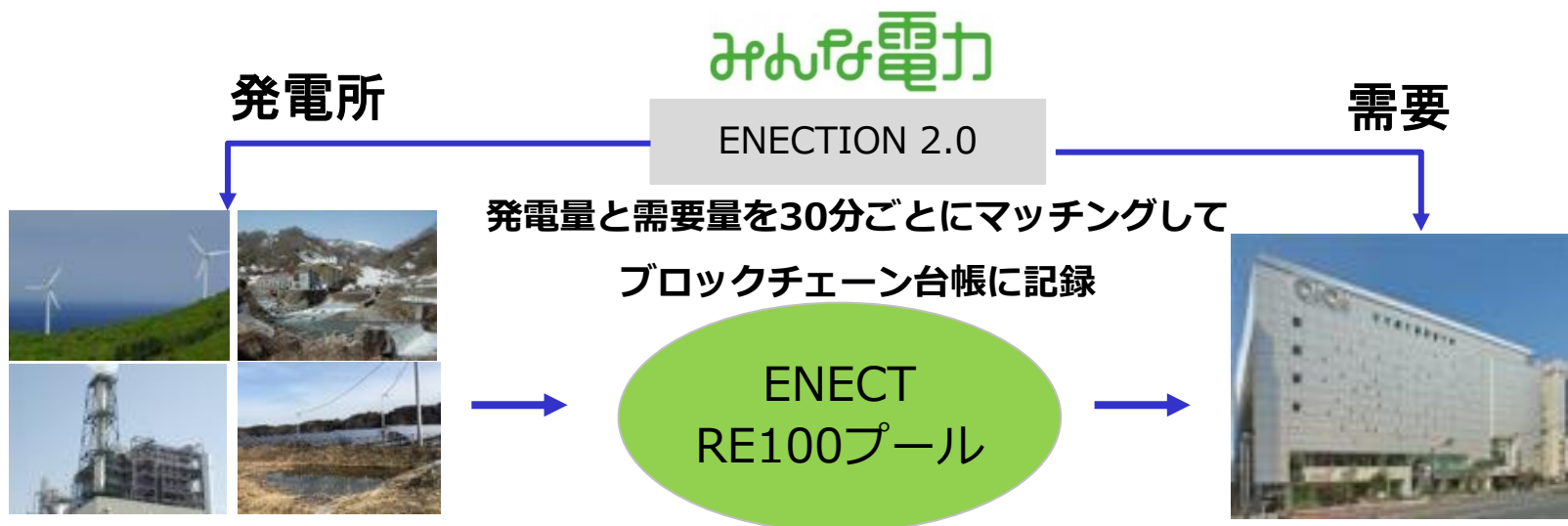
〈目標〉

RE 100

2030年度

再生可能エネルギー100%

■ みんな電力さまと取り組みを開始（2018年9月～新宿マルイ 本館にて）



- ・ 新たな電力各社との共創により19年度20%の再エネ導入予定
- ・ 再エネ100%にむけ、電力小売事業者へ登録。中間コスト削減にも寄与

(現状)

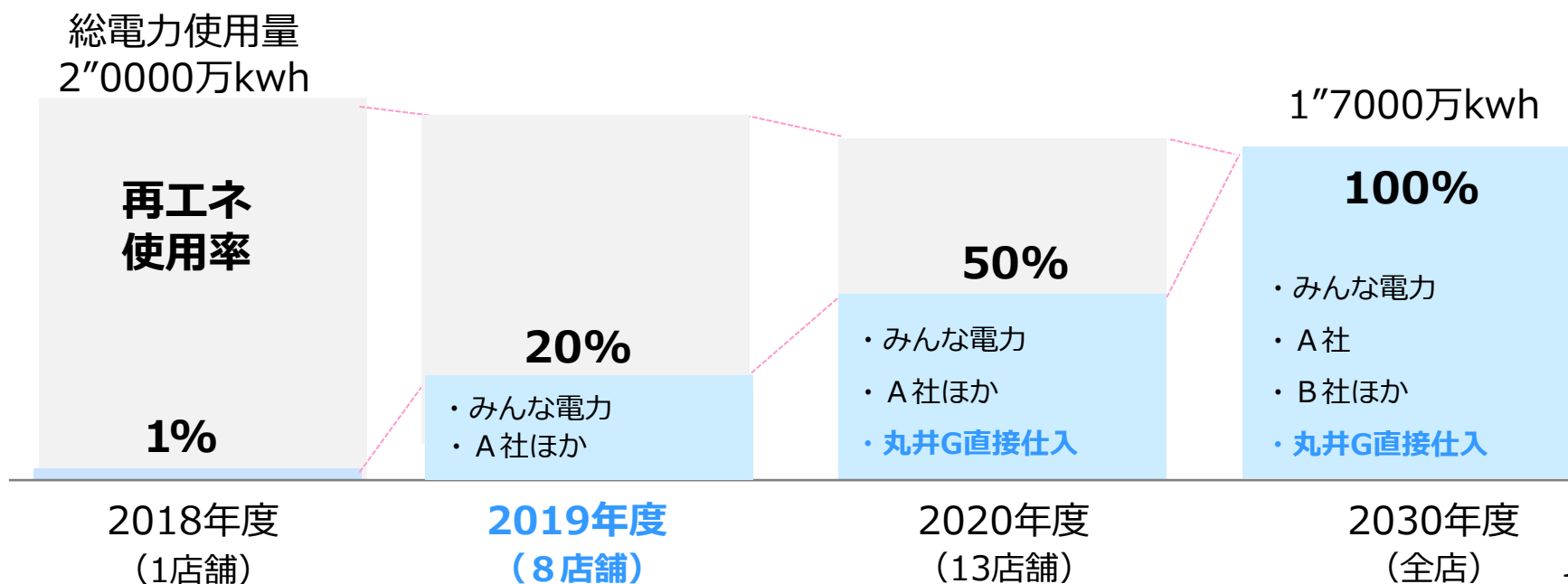
新電力各社との共創により
再エネ電力を購入

+

(今後)

電力小売事業者として
再エネ電力を直接仕入

- ・ 中間コスト手数料5～10%の削減



- ・みんな電力さまとの資本提携によりサステナブルな選択肢を世の中に提供

■2018年12月 みんな電力さまと資本業務提携

- ・電力の切り替えを検討されるお客さまへ丸井グループを通じてご紹介

丸井グループ

お客さま

エポスカード会員

688万人 (2019年3月時点)

みんな電力

再生可能エネルギーへの切り替えを
おすすめ



月々の電気代をエポスカードで
お支払い



